

今、滋賀医大でアツイ！「心電図検定」に迫る

心電図 検定

「心電図検定」とは??

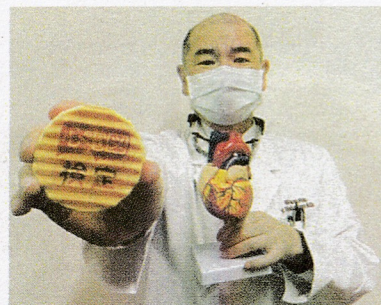
日本不整脈心電学会主催。職種にかかわらず、心電図に興味をもつすべての人が受験可能。4級から1級まであり、級ごとに色の異なる「合格者バッジ」は、実習の名札につけたくなるちょうど良いサイズ感です。開催頻度は年1回で、マークシート形式での試験となっています。実は、「心電図検定」は、滋賀医科大学医学部附属病院循環器内科の芦原貴司先生が監修されており、滋賀医大に関わりのある検定なのです。

循環器内科教授中川義久先生より合格者へ豪華プレゼント授与！

2022年1月に行われた、第7回心電図検定試験に合格した滋賀医大生に対して、循環器内科の中川義久先生が「心臓模型」をプレゼントしてくださいました！中川義久先生は、毎週水曜日のお昼休みに「心電図虎の穴」という心電図と国試の勉強会を行っておられ、そこでも「心電図検定」の受験をおすすめされていました。今回の試験では、20名以上の滋賀医大生が受験していて、中川義久先生自ら盛んに合格者をお祝いしてくださいました。

心電図に興味がある方も心電図検定を知らなかった方も、ぜひ心電図を学ぶ楽しさを感じてみてはいかがでしょうか。

2022年1月に施行された心電図検定に滋賀医大の学生が挑戦し数多く合格しました。合格おめでとうございます！他大学の先生方からも「滋賀医大の学生は偉い！」と称賛の声が届いています。さあ、後輩の皆さまも続いて挑戦しませんか！



～心臓模型と心電図検定せんべいを手に笑顔の中川義久先生～

第7回心電図検定合格体験記：検定が実習班との思い出に

向井浩平さん 医学科6年生



～向井浩平さん先生と記念写真～

はじめまして、6回生の向井です。今年の1月に心電図検定があり、無事3級に合格しました。5年生の時、コロナが流行っていて部活も中途半端にあたりなかったり、何かを頑張るわけでもなく、なんの変化もない毎日を過ごしていました。その中でクリクラ班のみんなと一緒に受けてみようかと誘ってくれたのが心電図検定を受けたきっかけでした。たぶんですが、心電図が得意と言える医学生は多くないと思います。実際に自分自身も心電図に苦手意識を持っていて、将来のためにどこかでちゃんと勉強しなアカンって思いはありました。しかし、どうやって勉強したらいいのかどこから手をつけていいのか分かりませんでした。そんな気持ちでいたところ、クリクラで循環器内科を回っていたときに心電図検定の存在を知りました。最初はそんなあるんやーという感じで聞き流していたら、検定好きの2人のやる気スイッチが既に入っていて、気がついたら自分も受験登録していました(笑)。受験したのはクリクラ班5人の内の4人でしたが、もう1人は毎日のように応援してくれて頑張ろうと思えました(笑)。受けると決まってからは検定好きの2人がめっちゃくちゃ勉強して、スタートダッシュを決めてくれたおかげで、自分で勉強していて分からないところや理解が難しいところを教えてくれたり、逆に自分が学んだ知識を披露合ったりと、クリクラ班のみんなの存在はとても大きかったです。勉強内容としては公式問題集があり、そこに載っている心電図を理解できていれば合格点を取れると思います。参考書としては心電図パーフェクトマニュアルがとても秀逸で、とても参考になるので、もし心電図を勉強したいと思っている方は買ってみてください。少しお高いのでメルカリで買うか、図書館にも置いてあるのでぜひ読んでみてください！

そして、何より嬉しかったのは合格のご褒美に心臓の模型を中川先生からいただいたことです。僕はそれを勉強机の上に飾ってます(笑)。気になる方はぜひ心電図検定にチャレンジしてみてくださいね！